Chigasaki Municipal Hospital ［Newsletter］

茅ヶ崎市立病院通信

2026.11
第17号

特　集

「ロボット手術の今と未来」
～人工関節手術という選択を身近に～



撮影場所：茅ヶ崎市立病院手術室

TOPICS:

整形外科 人工関節センター
～人工関節手術支援ロボット導入～

・市民公開講座/SNSアカウントのお知らせ
・2025年度 病院事業会計 決算報告

人工関節手術支援ロボットとは



画像提供：日本ストライカー株式会社

医師が行う人工関節手術をサポートする医療ロボットです。
患者さんの骨のデータをもとに手術計画を立て、手術中もリアルタイムにナビゲートしながら、計画に沿った手術を支援します。

当院の整形外科、治療に関するより詳しいご案内はＨＰをご覧ください。

紹介から受診	診断と入院	手術	リハビリと退院	リハビリ継続
				
かかりつけ医からの紹介で当院受診	手術適応の場合当院にて事前入院	手術時間は約1時間（手術は保険適用です）	２～３週間程度の入院とリハビリ	退院後も外来にてリハビリを継続

特　集

「ロボット手術の今と未来」

～人工関節手術という選択を、もっと身近に～

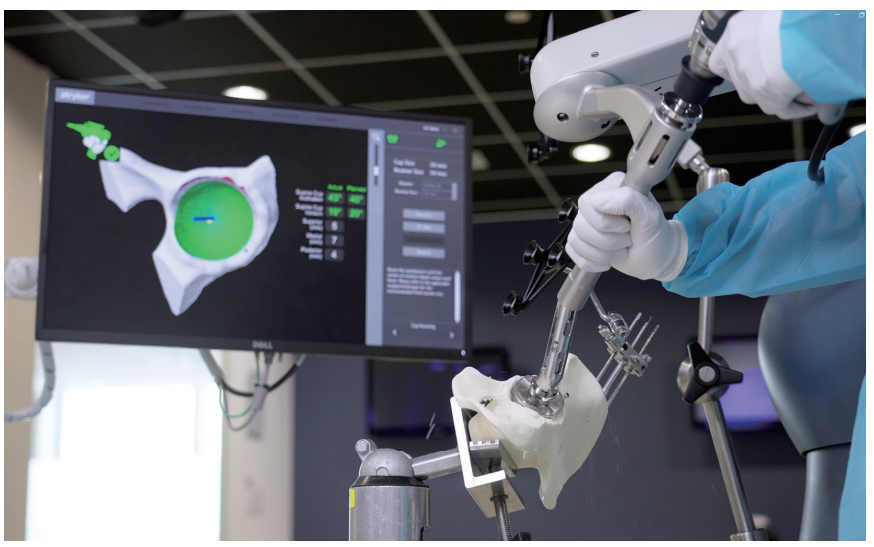
年齢を重ねる中で、膝や股関節の痛みを抱え、歩くことや日常生活に不便を感じることはありませんか？

変形性膝関節・股関節症などの治療には、痛みの軽減や歩行能力の改善を目的とした人工関節置換術という選択肢があり、その手術件数も年々増加*しています。　*日本整形外科学会 人工関節登録制度2024年度統計

当院では今年度より、湘南東部医療圏域（茅ヶ崎・藤沢・寒川）で初となる人工関節手術支援ロボットを導入しました。
人工関節置換術と手術支援ロボットについて、医師に詳しく話を聞きました。

『自動制御システムで術前計画に沿った、より正確で安全な手術をサポート』

変形性関節症の治療は、症状が進んだ多くの場合、人工関節に置き換える手術が一般的となっています。これまでも、当院では手術の際コンピュータナビゲーションシステムを使って骨の切除位置や角度などを画像化し、それらを見ながら手術を行っていました。車のナビで例えると「地図」が示された状況です。但し、地図が示されても実際にその地図に沿って骨を切れるかどうかは、術者の技術や経験に依存する部分がありました。



しかしながら、今回導入した「人工関節手術支援ロボット」には、自動制御システムが備わっており、ナビゲーションシステムで示された計画外の方向へ進みにくいよう制御されます。同ロボットを用いた人工関節手術では、まずCT検査で３Dの骨格データを作成します。作成されたデータをコンピュータで解析して設計図を作り、ロボットと連携します。骨を切る、削るという工程では、ロボティックアームによる支援を受けながら術前計画に沿った操作を行っていきます。

関節は複雑な構造になっていて、骨の形からは予測していなかったじん帯があったり、個人によりじん帯自体が柔らかい・硬いなど千差万別です。また、関節周囲には大事な血管があるため、それらを傷つけないよう手術を進める必要があります。その様な状態でも、人工関節手術支援ロボットを使うことで術前に計画したとおりに操作を支援してくれるため、患部以外を傷つけるリスクを抑えながら手術ができるようになりました。

『新たな技術によって、医師の経験の積み重ねにもつながっていく』



医師にとっても、同ロボットでの手術を経験することで学ぶこともあると考えています。今までは切る角度、削る深さなどは感覚に頼る部分が大きく、経験のある医師から学ぶにしても「感覚を学ぶ」という難しい過程がありました。しかし、ロボット支援手術では、数値化された術前計画に沿って操作を支援してくれるので、リスク低減に配慮しながら経験を積むことができます。

その積み重ねが膝関節や股関節の理解をより深め、ロボットを使わない手術を行う際にも生きてくると実感しています。

『住みなれた地域で、人工関節手術の選択肢を提供』



当院の整形外科では、2026年４月に湘南東部医療圏において初となる人工関節手術支援ロボットを導入しました。

医師の経験を補助し、詳細な術前計画に沿った手術操作をアシストすることは、患者さんにとって住み慣れた地域の身近な病院で人工関節手術の選択肢を検討できる体制があるということで、治療を考える際の選択肢の一つになると考えています。
これからも地域の皆さまの「歩く」「動く」を支えるため、整形外科・リハビリテーションの診療体制の充実に取り組んでいきます。

茅ヶ崎市立病院
医師がお答え
します。

教えて、先生！

～人工関節センター編～



Q.手術支援ロボットで対応するのはどのような治療や手術に対して？

変形性膝関節・股関節症の手術に用います。
加齢や体重負荷などが原因で、膝関節や股関節の軟骨がすり減り変形してしまう病気です。
そのため骨と骨が擦れて痛みが生じたり、歩行が困難になったりして、日常生活にも影響が出てきてしまうことが特徴です。

Q.手術を受ける場合、なにかリスクがありますか？

人工関節手術に限らず、手術には一定のリスクがあります。
人工関節手術では、感染や出血、神経や血管の損傷、人工関節の脱臼やゆるみなどが起こる可能性があります。
こうしたリスクをできるだけ減らすため、手術前に詳細な検査を行い、患者さん一人ひとりにあわせた手術計画を行います。
期待される効果だけでなく、リスクについても丁寧に説明し、十分に理解したうえで治療を選択してもらうことを大切にしています。

Q.茅ヶ崎市立病院で手術を受けたい場合、どうすればいいですか？

当院での診療には紹介状が必要です。
まずはかかりつけの医療機関にご相談いただき、紹介状をもって当院の整形外科をご受診ください。症状や関節の状態を診察し、手術が適しているかどうかを含め、今後の治療について一緒に考えていきます。

Q.「手術支援ロボット」とは、ロボットが自動で手術を行うのでしょうか？

いいえ、手術を行うのは医師です。
手術支援ロボットは、医師の「目」や「手」をサポートする医療機器です。患者さんの骨の状態に合わせた手術計画をもとに、骨を削る位置や角度などを確認しながら、より正確な手術ができるよう支援します。

Q.手術後、リハビリや退院までの流れを教えてください。

手術後は、できるだけ早い時期からリハビリを始めます。
入院期間は患者さんの年齢や体力、手術前の状態などによって異なりますが、当院では平均で2～3週間程度です。人工関節センターでは、理学療法士・作業療法士などとも連携し、術後の早期回復を目指しています。

Q.膝や股関節の痛みに悩む市民の皆さまにメッセージはありますか？

変形性関節症は、症状や進行の程度に応じて、運動療法や薬物療法など、手術以外にもさまざまな治療方法があります。
症状が気になる場合には、早めに相談し、適切な治療につなげることが大切です。
当院整形外科では、地域の整形外科クリニックとも連携しながら診療を行っています。
気になる症状がありましたら我慢せず、かかりつけの医療機関へお気軽にご相談ください。

副科部長　**丹羽 陽治郎**
人工関節センター長
日本整形外科学会整形外科専門医
身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）



医長　**井窪 元太**
人工関節副センター長
日本整形外科学会整形外科専門医

EVENT

市民公開講座のお知らせ

知ってほしい！

変形性関節症と人工関節



参加費無料

お申し込みは
二次元コードより
（先着150名）

茅ヶ崎市立病院
・整形外科　副科部長
・人工関節センター長
丹羽 陽治郎 医師

2026.
11.15 日
茅ヶ崎市コミュニティホール（分庁舎6階）
11:00 – 12:30

NEWS

当院のインスタグラムアカウントを開設しました。

- 出張講座/教室について
- 採用に関する情報
- イベントのお知らせ

当院の日々の取り組みや採用情報、
イベントのお知らせをお届けします。
下の二次元コードから、
ぜひチェックしてください。



@chigasaki_municipal_hospital

2025年度　茅ヶ崎市病院事業会計　決算報告

決算概要

2025年度は、診療報酬上の加算取得のための体制構築、効率的な病床運営と救急受け入れ体制の見直し、手術室運用状況のモニタリングと分析から手術枠の増設を進めるとともに、当院の強みとなる診療科等に関する広報活動に加えて、出張講座や市民公開講座を開催し、市民向けにわかりやすく医療情報や当院の取り組みを継続的に発信しました。

また、地域の基幹病院として、良質な療養環境と安全・安心な医療を提供するため、病院の設備（空調、電気、給排水、防災等）を一元的に監視や管理、操作する中央監視装置、病棟の照明やリモートコントロールベッド等の施設・設備の更新を進めるとともに、病棟セントラルモニタをはじめ医療機器の更新を進めたほか、診療の継続性確保のため、緊急事態下においても診療を継続できるよう、電子カルテシステムのオフライン参照環境を構築するなど、予定していた建設改良事業を実施しました。そのほか、日本整形外科学会の統計によると痛みの軽減や歩行能力の改善を目的とした人工関節置換術のニーズが高まっていることから、湘南東部医療圏内では初となる人工関節手術支援ロボットを購入し、早期稼働に向けた準備を進めました。

経営状況に関して、医業収益は126億9,829万円で、前年度と比較し、7億968万円の増となりました。また、国からの補助金として「医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金」の収入が2億2,819万5千円あるなど、病院事業収益全体では145億8,481万円となり、前年度と比較し、10億1,916万円の増となるとともに、過去最高収益を更新しました。

一方で、病院事業費用全体では149億4,250万円となり、前年度と比較し、9億4,466万円の増となるとともに、費用についても過去最高額を更新する結果となりました。社会経済情勢の影響による価格高騰等が今もなお深刻な状況であり、経営的に厳しい状況となりました。

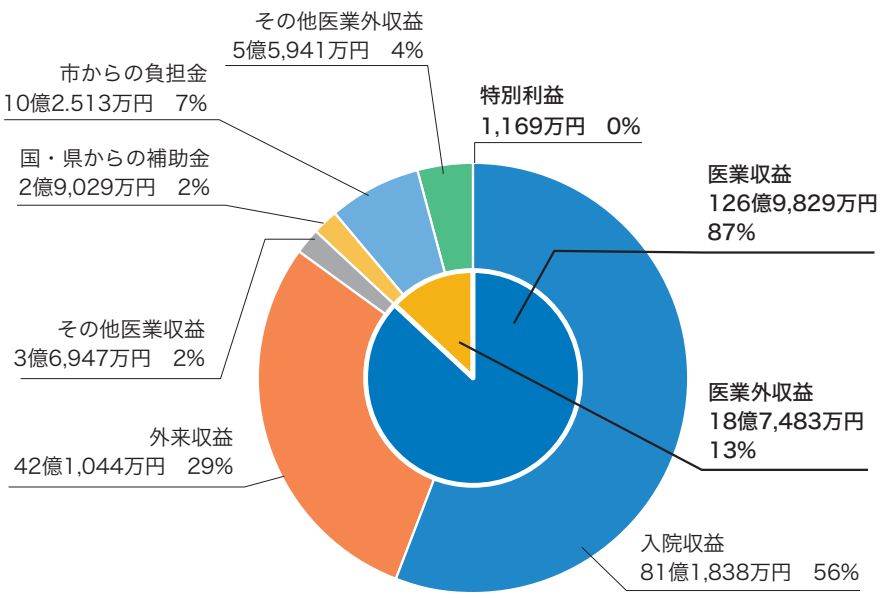
この結果、2025年度は、2億8,403万円の経常損失、3億5,769万円の純損失を計上する結果となりました。

なお、当院では、2024年度から2027年度までを計画期間とする「茅ヶ崎市立病院経営計画」を策定しており、本計画において、経営に関する各種目標や重点的に実施する取り組みを定めています。また、全職員に対して、経営状況や目標進捗率等に関する情報提供を積極的に実施するとともに、徹底した月次評価を実施し、今後の病院経営において必要となる対策や手法等について議論を深めています。

本計画に定める取り組みを着実に推進し、計画期間中である2027年度までに経常黒字（経常損益の黒字）化を実現することを目指し、経営改善を図っています。

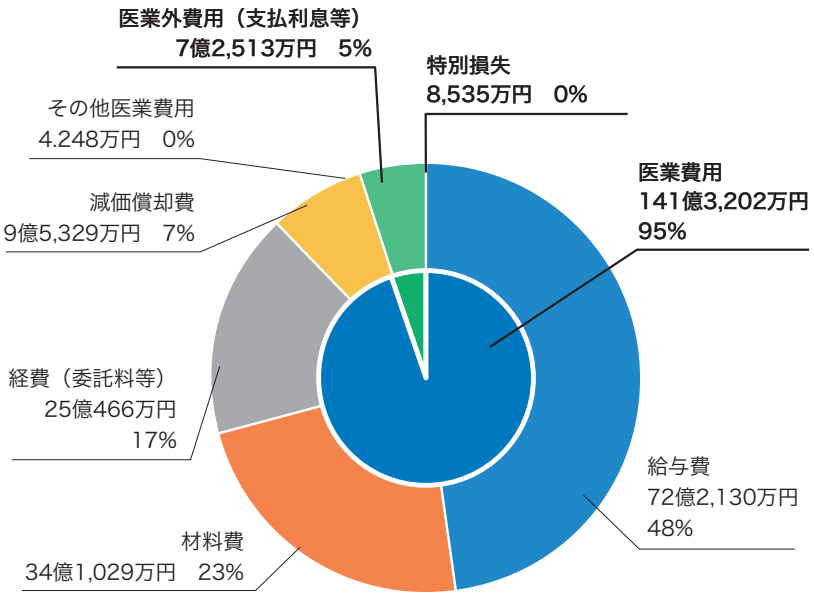
病院事業収益

145億8,481万円



病院事業費用

149億4,250万円



決算状況

区　分	2025年度	2024年度	増減
病院事業収益	145億8,481万円	135億6,565万円	10億1,916万円
医業収益	126億9,829万円	119億8,861万円	7億968万円
医業外収益	18億7,483万円	15億4,308万円	3億3,175万円
特別利益	1,169万円	3,396万円	▲2,227万円
病院事業費用	149億4,250万円	139億9,784万円	9億4,466万円
医業費用	141億3,202万円	131億7,422万円	9億5,780万円
医業外費用	7億2,513万円	7億1,662万円	851万円
特別損失	8,535万円	1億700万円	▲2,165万円
医業損益	▲14億3,373万円	▲11億8,561万円	▲2億4,812万円
経常損益	▲2億8,403万円	▲3億5,915万円	7,512万円
純損益	▲3億5,769万円	▲4億3,219万円	7,450万円

診療実績

区　分		2025年度	2024年度	増減
入院	延患者数	111,431人	111,493人	▲62人
	1日平均患者数	305.3人	305.5人	▲0.2人
	診療単価	72,861円	68,847円	4,014円
	病床利用率	76.1%	76.2%	▲0.1%
外来	延患者数	224,860人	226,540人	▲1,680人
	1日平均患者数	929.2人	932.3人	▲3.1人
	診療単価	18,737円	17,486円	1,251円

※金額はすべて税抜きです。

■紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、一般病床200床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。
他の医療機関からの紹介状を持たずに当院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として7,700円(税込)をご負担いただきます。



茅ヶ崎市立病院
CHIGASAKI MUNICIPAL HOSPITAL
TEL:0467-52-1111
病院ホームページ
◇受付時間＝午前8時30分~11時
◇診療時間＝午前9時～午後5時
◇休診日＝土・日曜日、祝日、年末年始